

医療法人橘会上之原病院

所在地：渋川市北橘町上南室167番5
労働者数：228名（女性123名、男性105名）
事業内容：精神・神経科病院等の運営
代表者：田中 守



患者様への対応に欠かせない「母性」

もともと女性が多い職場であり、職員の子育て支援は必要不可欠な取り組みでした。育児を経験した職員が多いので、職場の理解も得られやすい状況です。

患者様への対応という面でも「母性」が欠かせないため、今後も女性の力は必要ですが、男性の看護師についても、母性的な面が普段の業務で求められます。そこで、男性も安心して子育てに参加できるような配慮を進めています。

田中理事長



妊娠中や、育児休業中の人員配置

出産や育児休業の予定がわかった段階で、働きやすい職場環境について本人と相談します。基本的にはその部署で働き続けてもらいますが、体調管理には注意するよう、周囲の者にも伝えます。

妊娠中の体調不良や育児休業で職員が休む場合、体力的に余裕のある職員や、シフトを増やしたい職員を多めに配置します。さらに、子育て経験のある職員も配置し、休業取得者がいないところでも、子育ての苦労等についてフォローできる体制を心がけています。



橘会上之原病院は、働き方の見直しを進めています。

- ・ 年次有給休暇の取得率は、直近1年間で約41%です。
- ・ 時間外労働については、総合病院などと違い、もともと時間外労働は少ない職場であり、職員1人当たり年間で2時間程度です。

橘会上之原病院の概要を紹介します。

- ・**診療科目**は精神科、神経科、心療内科、内科で、精神科一般病棟が30床、精神療養病棟が90床、認知症疾患治療病棟が50床です。こころや神経の病気の治療に対し、医師や薬剤師、看護・介護職を始め、作業療法士、理学療法士、精神保健福祉士、臨床検査技師、診療放射線技師、支援相談員、ケアマネージャーといった専門の優秀なスタッフが、診断や治療、社会復帰の支援を行っています。
- ・**グループ施設**として、訪問看護ステーションや、精神科デイケア、介護老人保健施設等の施設も運営しています。

短時間勤務の「イクメン」

男性の育児短時間勤務利用者も1名おり、配偶者が3人目の子を出産したタイミングで、保育園の送迎のため、朝と夕1時間ずつの時間短縮を利用しました。当該男性からは、「午後4時にあがる時、他の職員から『気をつけてね』などと声をかけてもらい、助かった。周囲の協力にととても感謝している」という声を聞いています。

配偶者の出産時休暇の取得も奨励しており、対象者9名中8名が取得し、出産に立ち会いました。

男性の育児短時間勤務利用者



配偶者出産時休暇取得者



くるみんマークを人材確保に活用

過去に育児休業プログラムの奨励推進を受け、今日まで継続して取り組んだ結果、認定をいただける運びとなりました。くるみんマークは求人票等に表示して活用しています。

優秀な人材を育てること、人を活かす働き方（環境）を整えることは、魅力ある職場づくりと若いスタッフの確保に繋がると確信しています。

↓くるみんマークの活用



育児・介護休業制度の概要及び実績

- ・**育児休業**…原則として子が1歳に達するまで、特別な事情があれば1歳6か月まで取得可能。男性1名、女性2名が取得（女性の取得率は100%）。
- ・**育児短時間勤務制度**…子が小学校に入学するまで利用可能。男性1名が利用。
- ・**子の看護休暇**…子が小学校に入学するまで、病気等の看護のため、子が1人の場合は年5日間、2人以上の場合は年10日間、時間単位で取得可能。
- ・**介護休業及び介護短時間勤務制度**…要介護状態の家族介護のため、通算93日間利用可能。

※ 取得率等のデータは、平成22年10月～平成25年3月までの実績